

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成22年1月21日(2010.1.21)

【公開番号】特開2008-132680(P2008-132680A)

【公開日】平成20年6月12日(2008.6.12)

【年通号数】公開・登録公報2008-023

【出願番号】特願2006-320871(P2006-320871)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/175 (2006.01)

B 4 1 J 2/18 (2006.01)

B 4 1 J 2/185 (2006.01)

B 4 1 J 2/165 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 Z

B 4 1 J 3/04 1 0 2 R

B 4 1 J 3/04 1 0 2 N

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月26日(2009.11.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

インクを吐出するための吐出口を備えた記録ヘッドを走査する走査手段と、
前記吐出口に不良吐出口が発生するように前記インクを吐出させず前記記録ヘッドを走査させて前記記録ヘッドを空走査させる空走査手段と、
前記空走査の後に前記不良吐出口の存在を検出する検出手段と
を有し、

前記検出手段が前記不良吐出口の存在を検出するまでに要する前記空走査の回数あるいは時間に基づいて、前記インクの色材濃度を特定することを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

前記吐出口から前記インクを強制的に排出させる排出手段と、
前記インクを排出する際の排出方法を前記色材濃度に応じて変更するように前記排出手段を制御する排出制御手段と
をさらに有することを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 3】

前記検出手段は、不良吐出口の検出を行ってから次の検出を行うまでの前記空走査の回数又は時間を段階的に増加させて検出することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の記録装置。

【請求項 4】

インクを吐出するための吐出口を備えた記録ヘッドの吐出口面をキャップするキャップ手段と、
前記吐出口に不良吐出口が発生するように前記記録ヘッドを前記キャップ手段から離して大気中に保持する保持手段と、
前記不良吐出口の存在を検出する検出手段と
を有し、

前記検出手段が前記不良吐出口の存在を検出するまでに要する前記大気中保持の時間に基づいて、前記インクの色材濃度を特定することを特徴とする記録装置。